代表質問

明石かがやきネット
竹内（たけうち）　きよ子（こ）　議員

令和7年度当初予算案

問　財政の健全化には、優先順位を付けて施策を進める必要がある。予算編成や今後の財政見通し、自主財源の確保について市の見解を聞く。

答　令和7年度の当初予算は、一般会計において、障害福祉費や子育て支援経費等の民生費の増加に加え、中学校等体育館への空調設置等の投資的経費の増加などで6年度より103億円増加した。財政基金等3基金の取り崩し額は、6年度から3億円増の28億円だが、7年度末の残高は108億円を確保する見込みで実質公債比率など財政指標も含め健全な水準を維持している。

今後の収支見通しは、人口増に伴う地方交付税の増加等により3基金の残高は、11年度ごろまでは110億円程度確保できるが、新ごみ処理施設整備等に伴う市債の返済により、15年度末には85億円程度まで減少する見込みだ。

財源確保策として、公共施設へのネーミングライツの導入やふるさと納税の獲得強化等を行うほか、事務事業の見直しなど、事業の必要性や優先順位を見極め、限りある財源を有効に活用していく。

その他の項目
○本市の上水道・下水道管路の老朽化対策
○魚住東部地区（新幹線車両基地計画地区）の農業振興
○学校現場の子どもたちへの支援

限りある財源を有効に活用

明石維新の会
上田（うえだ）　雅彦（まさひこ）　議員

上下水道管の安全対策

問　埼玉県八潮市で下水道管の破損による道路陥没事故が発生し、市民生活に多大な影響が出たと報道された。本市の上下水道管の安全対策を聞く。

答　一般的に、下水道管は地下に埋設しており、破損などで管に穴が開いた際、周辺の土砂が管内に流れ込み、地下に空洞が生じることで道路陥没が発生する。破損の原因は、他の地下埋設工事によるものや硫化水素等による腐食など、多岐にわたっている。本市は、令和元年9月に明石市公共下水道ストックマネジメント計画を策定し、下水道施設全体を計画的・効率的に管理している。本市には、八潮市の道路陥没事故の原因となったような大規模な下水道管は無いが、今後も下水道管の計画的な点検等により、事故の未然防止に努めるとともに、改築や修繕などを実施していく。

水道管については、4年度に策定した老朽管更新計画に基づき、優先順位を付け更新するとともに、2年周期で市内一円の漏水調査を実施し、安全確保に努めている。

7年度からは、両事業が一体となる上下水道局が引き続き安全対策を行い、市民の安全安心な暮らしを守ることができるよう取り組んでいく。

その他の項目
○令和7年度施政方針
○「大阪・関西万博」に向けた本市の観光戦略

計画的な点検・調査で安全確保

令和7年度当初予算の概要

対話と共創でつくる“もっと”やさしいまち明石　～市民の笑顔があふれる明石市に～

一般会計、特別会計、企業会計の各予算議案を審議し、全ての予算案を原案どおり可決しました。

市の基本的な行政サービスを行うための一般会計当初予算は、西明石活性化プロジェクト事業費や児童手当支給事業費等の増加などにより、前年度に比べ約103億円の増で、過去最大の予算規模となっています。

予算総額　2,322億3,385万円（前年度比4.4％増）

一般会計	1,366億　656万円	（前年度比8.2％増）
特別会計	702億4,854万円	（前年度比0.5％増）
企業会計	253億7,875万円	（前年度比3.2％減）

【基本的な考え方】
①対話と共創（コ・クリエーション）のまちづくり
②環境と経済の好循環のまちづくり
③市民にやさしいＤＸの推進
④あかしＳＤＧｓ後期戦略計画の策定

対話と共創のまちづくり
- ●産官学民との共創によるまちづくりの推進（576万円）
- ●市民との対話によるまちづくりの推進（442万円）

など

安全安心のまちづくり
- ●市役所新庁舎整備に向けた取り組み（5億6,426万円）
- ●防犯カメラによる地域の防犯力向上（2,660万円）

など

こどもを核としたまちづくり
- ●中学校および明石商業高等学校の体育館における空調設備の新設（3億7,000万円）
- ●食材価格高騰に伴う学校給食費支援（2億2,500万円）

など

インクルーシブのまちづくり
- ●介護・障害分野のＤＸ推進・人材育成・施設整備の取り組み（12億322万円）
- ●強度行動障害のある人へのグループホーム利用支援（2,900万円）

など

豊かな自然を活かしたまちづくり
- ●脱炭素社会実現（ゼロ・カーボンあかし）に向けた取り組み（2億3,600万円）
- ●ごみの減量・再資源化の推進（ゼロ・ウェイストあかしの取り組み）（1,020万円）

など

にぎわいのあるまちづくり
- ●西明石地区活性化に向けた取り組み（13億6,418万円）
- ●本のまち明石の取り組み（6億1,225万円）

など